



# TOHOKU ROKIN DISCLOSURE 2025

東北労働金庫  
半期ディスクロージャー誌

生活応援バンク  
ろうきん

2025.4.1～2025.9.30

## ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。

会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。  
ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

## コンプライアンス態勢の確立

当金庫では、コンプライアンス経営の実践を経営の基本姿勢として明確にするとともに、責任ある経営体制の整備・監視機能の強化等を通して法令等遵守態勢を確立し、役職員の法令等遵守意識の醸成を図っています。

## 金融円滑化の取組み

当金庫は、地域の中小企業ならびに住宅資金等の借入を個人でご利用いただいているお客さまの貸付条件の変更等のご相談などに迅速かつ適切に対応するため、基本方針や態勢整備を定め、役職員一同、全力を傾注して取組んでいます。

## 自然災害への取組み

復旧・復興にご尽力されている皆さまに対しまして、深く敬意を表します。

当金庫では、今後も被災地の皆さまに寄り添い、被災された方々や被災地域を支援する取組みを継続してまいります。

### 1. 東北管内における低金利の「災害救援ローン(無担保、不動産担保)」の取扱い

平成23年	東日本大震災	令和7年	令和7年岩手県大船渡市における大規模火災による災害
令和6年	令和6年7月25日からの大雨による災害		令和7年カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波
	令和6年12月28日からの大雪による災害		令和7年8月20日からの大雨による災害
令和7年	令和7年2月4日からの大雪による災害		令和7年9月2日からの大雨による災害
	令和7年2月17日から日本海側を中心とした大雪による災害		

### 2. 「東北ろうきん復興支援・社会貢献団体助成金制度」の取組み

2012年度より、東北6県に主たる事務所を有しているNPO団体やボランティア団体等で、東日本大震災からの復旧・復興、被災者支援について、顕著な功績をあげている団体や、当金庫が定める社会貢献活動に従事している団体への支援として助成金を提供しております。

スケジュール	
募集期間	2025年8月15日～10月15日
助成先選考	2025年12月上旬
助成金決定通知	2025年12月下旬
助成金交付	2026年1月



#### 表示方法等について

1. 半期決算は、法定されておりませんので、会計監査人監査の対象となっておりません。なお、特に「現在日」の指定があるものを除き、すべて2025年9月30日現在のものです。
2. 各表に表示した金額は、特段のことわりがない限り、単位未満の端数を切り捨てて記載しています。
3. 合計と内訳がある場合は、それぞれ切り捨てて記載していますので、合計と内訳の計が一致しない場合があります。
4. 比率は小数点第3位以下を切り捨てし、第2位まで記載しています。
5. 2021年度決算より、消費税の会計処理を従来の「税込方式」から「税抜方式」に変更しております。
6. その他  
【-】:該当数値がない場合、【0】:単位未満の数値がある場合、【△】:マイナス値の場合を表示しています。

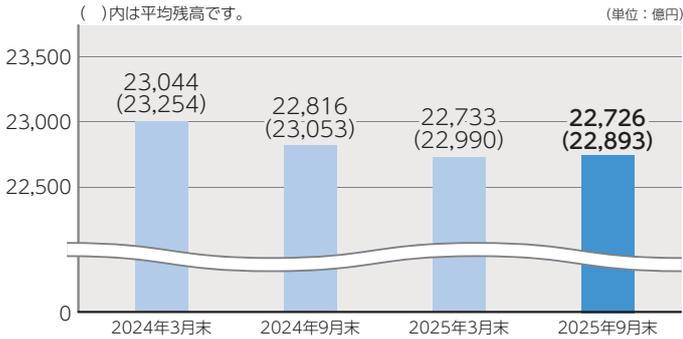


当金庫の2025年度上半期(2025年4月1日から2025年9月30日)における経営内容や取組み内容についてお知らせいたします。  
 半期開示は法的に義務づけられたものではありませんが、直近の経営内容を広く会員および利用者の皆さまに知っていただけるよう、自主的に行うものです。

## 預金・貸出金の動向

### 預金(譲渡性預金を含む)

預金残高は、上半期7億円減少し、2兆2,726億円となりました。  
 また、個人預金は33億円の減少となりました。  
 主として流動性預金12億円と定期性預金20億円の減少等によるものです。



### 貸出金

貸出金残高は、上半期138億円増加し、1兆4,670億円となりました。  
 また、個人貸出金は55億円の増加となりました。  
 主として、有担保ローン28億円、無担保ローン10億円、当座貸越22億円の増加等によるものです。



## 損益の状況

業務純益は、金融機関本来の業務活動(資金の運用・調達、サービスの提供等)により得られた利益で、当期は5億73百万円となり、前年同期比で29億97百万円の減益となりました。

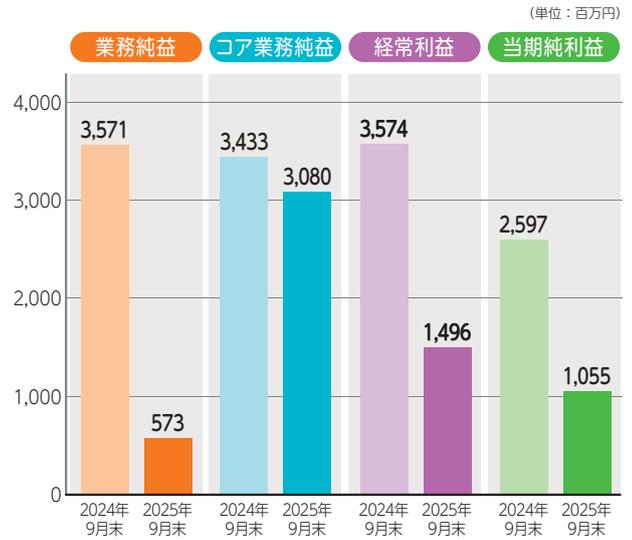
これは、収益面では国債等債券売却益が6億47百万円減少し、費用面では経費が3億38百万円、国債等債券売却損が19億96百万円増加したこと等によります。

なお、貸出金利息は6億71百万円増加したものの、預金利息も14億57百万円増加となりました。

業務純益から一般貸倒引当金繰入額や債券による売却損益を除いたコア業務純益は30億80百万円となり、前年同期比で3億53百万円の減益にとどまりました。上記の通り費用が増加したものの、収益面で預け金利息が6億31百万円、有価証券利息配当金が1億17百万円増加したこと等によります。

上半期の事業活動の成果を示す経常利益は14億96百万円となり、前年同期比で20億78百万円の減益となりました。

経常利益に特別に発生した利益および損失を加減した税引前当期純利益は14億68百万円となりました。税引前当期純利益から法人税等を控除した当期純利益は10億55百万円となり、前年同期比で15億41百万円の減益となりました。



## 自己資本比率(単体)

自己資本比率は、金融機関の経営の健全性を判断する指標の一つで、当金庫の2025年9月末の数値は、9.92%となりました。  
 国内基準である4%を上回る健全性を確保しています。

### 自己資本比率(国内基準)

(単位:百万円)

		2025年3月末	2025年9月末(概算値)
1. 自己資本の構成に関する主な開示事項	コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	114,858	115,911
	コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	140	131
	自己資本の額 ((イ)-(ロ)) (ハ)	114,717	115,780
	リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	1,145,161	1,166,436
	自己資本比率(国内基準) (ハ)/(ニ)	10.01%	9.92%
2. 定量的な開示事項	信用リスクに対する所要自己資本の額	44,044	44,895
	オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	1,762	1,762
	単体総所要自己資本額等	45,806	46,657

(注) 労働金庫では、9月期決算を法定されておきませんが、当金庫は内部規程に基づき、3月末決算に準じた仮決算を行っております。上記2025年9月末の自己資本比率は、この仮決算結果に基づいて算定した概算値です。  
 なお、定量的な開示事項の所要自己資本の額等はリスク・アセットに4%を乗じた額です。

## 資産内容の開示

### 労働金庫法及び金融機能の再生のための緊急措置に関する法律ベースの債権区分による開示

	(単位：百万円) (参考)		(単位：百万円)
	2025年3月末	2025年9月末	2024年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,757	5,933	5,560
危険債権	7,197	7,640	7,393
要管理債権	94	77	56
三月以上延滞債権	94	77	56
貸出条件緩和債権	-	-	-
小計(A)	13,048	13,650	13,010
正常債権(B)	1,441,293	1,454,488	1,423,067
総与信残高(C)=(A)+(B)	1,454,341	1,468,139	1,436,077
総与信残高に占める割合(A)/(C)(%)	0.90	0.93	0.91

(注) 金額については、単位未満を四捨五入して表示しています。



## 有価証券の時価情報

### 売買目的有価証券

	(単位：百万円)		(単位：百万円)	
	2025年3月末	2025年9月末	2025年3月末	2025年9月末
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価差額	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価差額
売買目的有価証券	-	-	-	-

### 満期保有目的の債券

	種 類	(単位：百万円)			(単位：百万円)		
		2025年3月末			2025年9月末		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国 債	-	-	-	-	-	-
	地 方 債	-	-	-	-	-	-
	短 期 社 債	-	-	-	-	-	-
	社 債	-	-	-	-	-	-
	そ の 他	-	-	-	-	-	-
	小 計	-	-	-	-	-	-
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国 債	-	-	-	-	-	-
	地 方 債	-	-	-	-	-	-
	短 期 社 債	-	-	-	-	-	-
	社 債	-	-	-	-	-	-
	そ の 他	-	-	-	-	-	-
	小 計	-	-	-	-	-	-
	合 計	-	-	-	-	-	-

(注) 1. 時価は、2025年9月末における市場価格等に基づいています。 2. 社債には、政府保証債、公社国債、金融債、事業債が含まれます。 3. 市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

### 子会社・子法人等株式及び関連法人等株式

当金庫が保有する子会社・子法人等株式及び関連法人等株式については、市場価格のない株式等であるため、下記「市場価格のない株式等及び組合出資金の主な内容及び貸借対照表計上額」に記載しております。

### その他有価証券

	種 類	(単位：百万円)			(単位：百万円)		
		2025年3月末			2025年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株 式	-	-	-	-	-	-
	債 券	43,758	43,428	329	42,060	41,920	139
	国 債	43,758	43,428	329	23,107	22,970	137
	地 方 債	-	-	-	18,953	18,950	2
	短 期 社 債	-	-	-	-	-	-
	社 債	-	-	-	-	-	-
	そ の 他	22,841	17,816	5,024	37,862	30,695	7,166
	小 計	66,599	61,244	5,354	79,922	72,616	7,305
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株 式	-	-	-	-	-	-
	債 券	156,191	159,722	△ 3,530	157,810	160,815	△ 3,005
	国 債	116,224	119,373	△ 3,149	114,593	117,163	△ 2,570
	地 方 債	26,773	26,848	△ 74	14,377	14,450	△ 73
	短 期 社 債	-	-	-	-	-	-
	社 債	13,193	13,499	△ 306	28,839	29,201	△ 361
	そ の 他	8,904	9,235	△ 330	9,994	10,433	△ 439
	小 計	165,096	168,957	△ 3,860	167,804	171,249	△ 3,444
	合 計	231,695	230,202	1,493	247,727	243,865	3,861

(注) 1. 貸借対照表計上額は、2025年9月末における市場価格等に基づく時価により計上したものです。 2. 社債には、政府保証債、公社国債、金融債、事業債が含まれます。 3. 市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

### 市場価格のない株式等及び組合出資金の主な内容及び貸借対照表計上額

項 目	2025年3月末	2025年9月末
子会社・子法人等株式	315	315
関連法人等株式	-	-
非上場株式	13	13
合 計	328	328

(注) 貸借対照表の「その他資産」科目に「労働金庫連合会出資金」17,100百万円を計上しております。



## 上半期トピックス

### 「大学生ボランティア活動向け助成金制度【未来へのタスキ】」活動報告会の実施

2025年9月2日に、2023年度および2024年度に助成金を交付した団体から24団体45名にご参加いただき、活動報告会を実施しました。グループワークでの活動報告では、ボランティア活動の取り組みや課題を共有しました。また、「寄付・投資・消費・貯蓄」などの疑似体験を通して、ウェルビーイング(幸福)の向上とお金の使い方の関係性を学ぶことが出来るカードゲーム「from Me」を実施し、さまざまな社会課題の解決に向けてお金をどのように使うかなどを学びました。

本助成金制度は東北ろうきん20周年記念事業として2023年度に新設し、3年間継続して助成することとしています。2025年度は新たに22団体を追加し総額618.8万円(うち継続支援42団体・398.8万円)の助成金を交付しました。



### 「夏休みに親子で学ぼう金融経済!2025」企画への参画

2025年8月5日に、金融・経済教育体験イベント【「親子ライフプラン実現プロジェクト」～金融について親子で学ぼう～】を開催しました。本イベントでは、小学3年生～6年生とその保護者を対象として、金融機関の仕事についての学習、将来の「夢」実現に向けたライフプランニング学習、本店営業部見学ツアー、移動金融車見学を実施しました。

移動金融車見学では、移動金融車の機能を学んでいただくことと併せ、実際にATMを稼働させ、保護者と一緒にATMの操作を体験していただきました。

参加した小学生からは、「普段、見ることができない移動金融車を見学できて嬉しかった。」「将来のことを親子で考えることができて良かった。」といった感想をいただき、本イベントを成功裏に終えることができました。



### ろうきん運動推進アドバイザー、東北ろうきん運動推進アドバイザーによる講演等の実施

労働金庫連合会から委嘱された東北所属のアドバイザー1名に加え、2024年度から「東北ろうきん運動推進アドバイザー」を東北各県に1名以上配置しています。各アドバイザーは講演活動を通じ、推進機構や会員組合員へのろうきん運動の普及・推進活動等を行っています。

2025年9月3日には、労働金庫連合会と連携し、ろうきん運動推進アドバイザーによる座談会「NO ROKIN, NO LIFE」を開催しました。若年層と女性層を中心とした会員組合員から29名の方にご参加いただき、動画視聴やクイズを通じて労金の成り立ちや組合員のメリットについて学んでいただくほか、若年層や女性層の声を伺う有意義な機会となりました。



### 給与振込キャンペーンの実施、東北楽天ゴールデンイーグルス「東北シリーズ」への出展

給与振込を新たにご指定いただいた方に加え、既にご指定いただいている方もエントリー可能なキャンペーンとして実施しました(第一弾:2025年3月1日～6月30日、第二弾:2025年7月1日～12月31日)。第一弾の抽選プレゼントとして、東北6県で5月から8月までに行われた東北楽天ゴールデンイーグルスの公式戦6試合に、合計300組600名をご招待しました。各試合当日には当金庫にて移動金融車を活用したイベント出展を行い、多くの来場者に「東北ろうきん」を知っていただく機会となり、キャンペーン当選者の方からお声がけいただくなど、非常に有意義な取組みとなりました。



### 昼時間窓口一時休業店舗の追加

2025年5月7日より4支店(古川、大館、大曲、白河)で昼時間の窓口一時休業を開始しました。これにより窓口一時休業導入店舗は全66店舗のうち48店舗となりました。なお、休業時間は48店舗とも11:00～12:00の時間帯となります。

# SDGs (持続可能な開発目標) と東北ろうきんの取組み

ろうきん業態では2019年3月に「ろうきんSDGs行動指針」を策定しました。SDGsのスローガンである「誰ひとり取り残さない」や、全ての人々が必要な金融サービスにアクセスでき利用できる状況を目指す「金融包摂」の考え方は、〈ろうきん〉の設立経過や理念、ビジョンと合致するものです。

当金庫においてもこの指針に則り、労金運動を通じた勤労者の生活向上という、〈ろうきん〉の使命を徹底追求することを通じて、今後も〈ろうきん〉に期待される協同組織金融機関としての役割を發揮し、SDGsに資する取組みを進めてまいります。

〈ろうきん〉は、良質な金融商品・サービスの継続的な提供を通じて、すべての勤労者やその家族が生涯にわたり安全・安心・豊かに暮らせる社会づくりを進めます。



〈ろうきん〉は、環境や社会への配慮や企業統治が優れた企業への投資、それらに取組む団体との連携等を通じて、持続可能な社会づくりに取組みます。



〈ろうきん〉は、誰もが平等に質の高い教育を受ける機会が保障されるとともに、すべての勤労者が自らの能力を高めるために生涯学び続けられる環境づくりに取組みます。教育に係る様々な資金ニーズに応えるとともに、金融経済教育を推進します。



〈ろうきん〉は、誰もが年齢・性別・障害・経済的地位などの違いによって、差別や排除を受けたり社会的孤立に陥ったりすることなく、健康で安心して働き暮らせる社会の実現をめざします。

社会的・経済的に困難な状況に置かれた人々の金融アクセスの改善を通じて、就労・社会参加や経済的自立の支援に取組みます。



〈ろうきん〉は、労働組合や協同組織・NPO・社会福祉法人・社団・財団・自治体などと連携し、各団体とのネットワークを活用した社会的課題の解決の取組みなどを通じて、差別や争いのない平和で誰もが安心して生活できる共生社会の実現をめざします。

